

(ア) 急性出血性結膜炎

過去10年間の年間定点当たり報告数は、最も多いのは平成23年(1.00、報告数10例)、次いで平成26年(0.70、報告数7例)、他の年は0.5(報告数5例)以下であった。

[illegible]

Building Type	Proportion
H23	1.00
H24	0.30
H25	0.10
H26	0.70
H27	0.30
H28	0.10
H29	0.20
H30	-
R1	-
R2	-
R3	-

Month	Average number of people per room
1	0.01
2	0.01
3	0.01
4	0.01
5	0.01
6	0.01
7	0.01
8	0.01
9	0.01
10	0.01
11	0.01
12	0.01

		0%	20%	40%	60%	80%	100%
H23	1.00						
H24	0.30						
H25	0.10						
H26	0.70						
H27	0.30						
H28	0.10						
H29	0.20						
H30	0.00						
R1	0.00						
R2	0.00						
R3	0.00						

(イ) 流行性角結膜炎

令和3年は年間報告数50例、年間定点当たり報告数5.00、年間定点当たり報告数の過去5年平均値との比0.29、前年比0.68であった。

過去10年間の年間定点当たり報告数は平成30年から連続で減少し、最も少なかった。

月別定点当たり報告数では、12月(0.70)が最も多かった。

年齢階級別では、20～29歳(32.0%)、30～39歳(22.0%)、次いで60歳以上(20.0%)の順で多かった。

